

KF・KF2

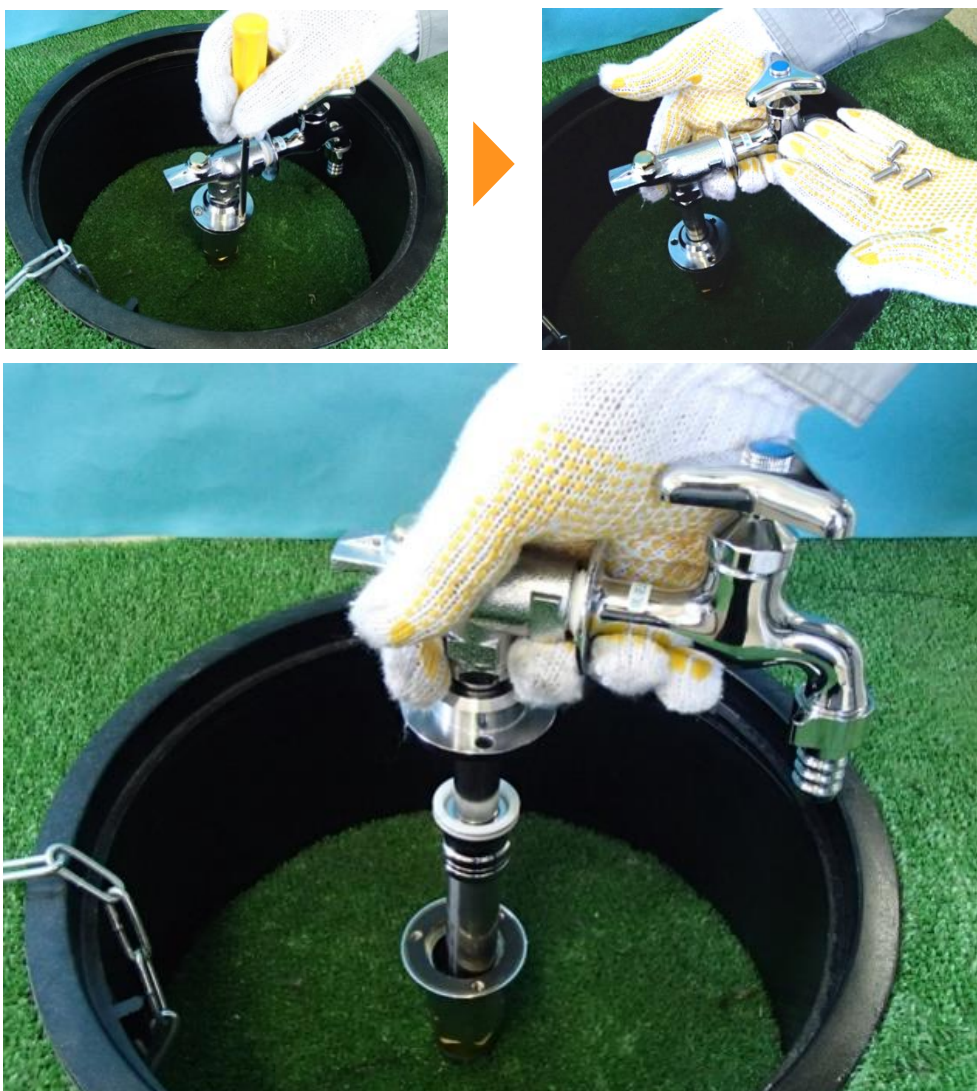
KFC・KFC2

伸縮散水栓メンテナンスガイド

メンテナンス方法

※下部本体内部には止水体が内蔵されていますが、経年劣化等により機能が低下している場合があります。
 止水体が効かない際には、メーター止水等で止水して下さい。

フランジビスを緩めて外して下さい。機種によりフランジビスの数に違いがあります。(3本または4本)



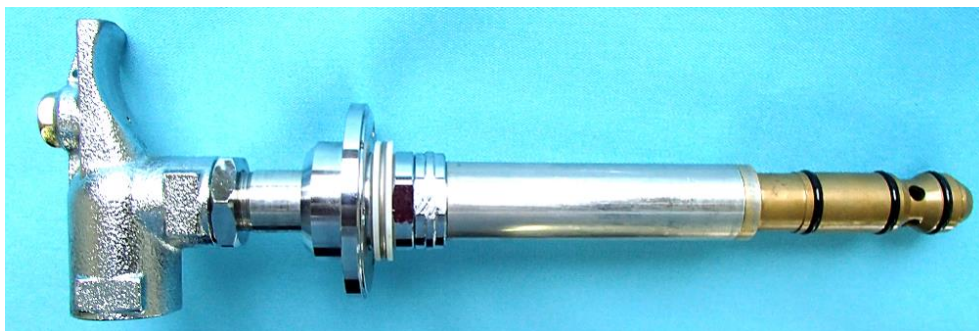
フランジビスを外し真上の方向に引き上げると、内部一式(中シャフト・ピストン組品)を引き抜く事が出来ます。
 内部一式(中シャフト・ピストン組品)を引き上げた際には、作業中に異物が外套管内に入り込まないようにご注意下さい。

内部に異物が入ってしまった場合には下部本体のシリンダー内部を破損させる恐れがあります。

※作業後は必ず、給水状態・水抜状態で漏水が無い事を確認して下さい。

内部一式(中シャフト・ピストン組品)について

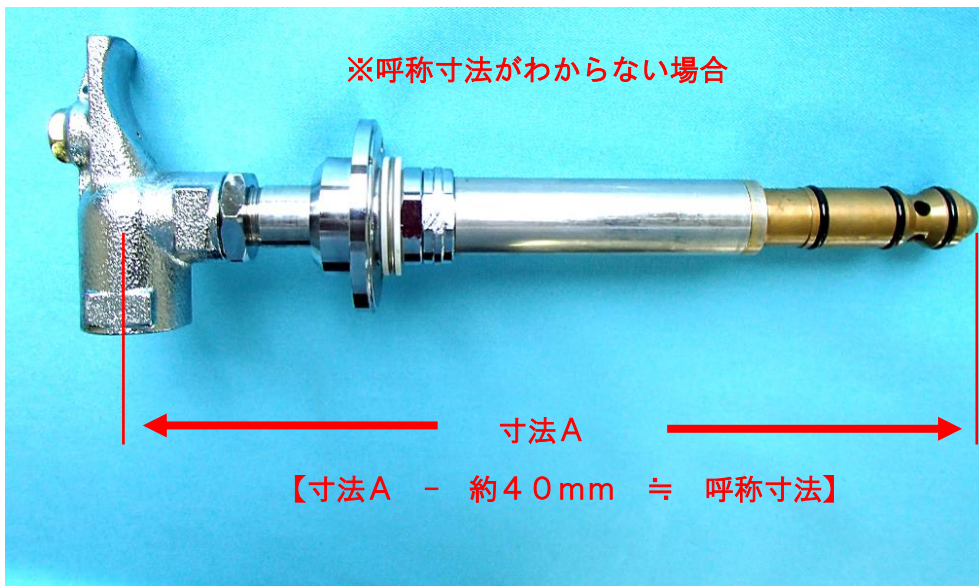
※内部一式(中シャフト・ピストン組品)はフランジのビスの数によって 2 種類あります。



フランジビス 3 本 KF KF2 KFC KFC2



フランジビス 4 本 SSKF I SSKF I (a) SSKF II SSKF II (a)



内部一式(中シャフト・ピストン組品)をご注文の際には、フランジビスの数(3 本または 4 本)と呼称寸法をご指定下さい。

内部一式を縮めた状態で、寸法 A(管継手組品のセンター～ピストンの先端までの寸法)から約 40 mmを差し引いた寸法が呼称寸法になります。

KF・KF2 型 (フランジビス3本) 伸縮散水栓

シールリング交換 手順

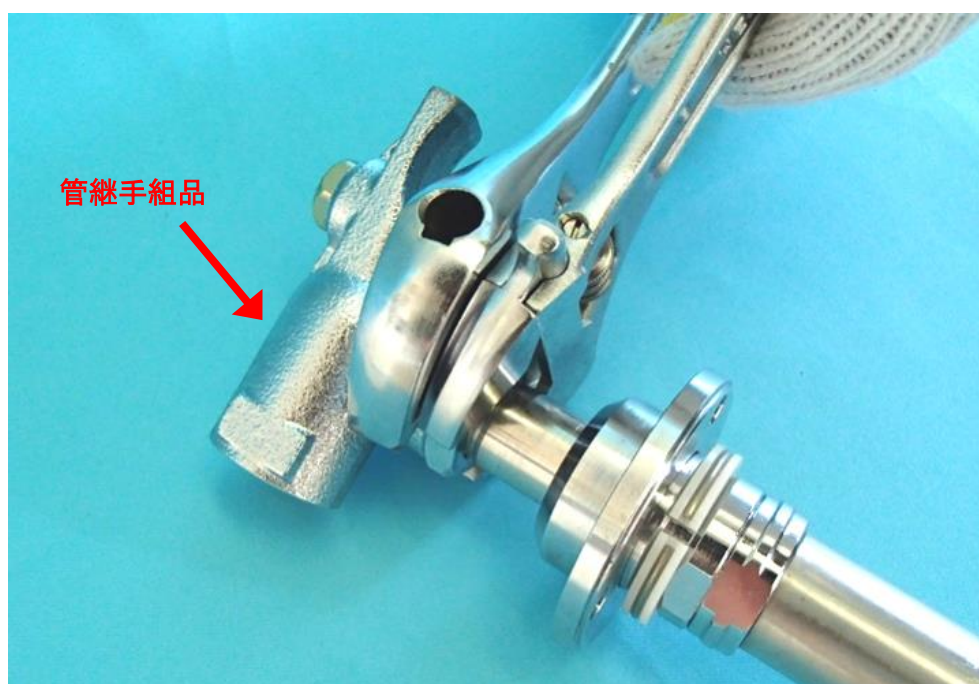
※この作業で対応できる製品は、KF・KF2 型 (フランジビス 3 本) の伸縮散水栓となります。

※下部本体内部には止水体が内蔵されていますが、経年劣化等により機能が低下している場合があります。

止水体が効かない際には、メーター止水等で止水して下さい。

手順 1

管継手組品を緩めて下さい。



手順 2

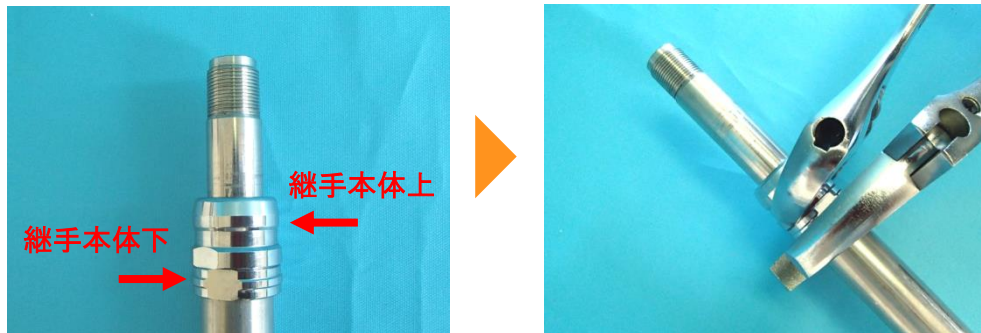
管継手組品・管継手ナット・フランジ・クリップリングカラーを外して下さい。



※クリップリングカラーには上下があります。再度組立てる時に向きを間違えないようご注意ください。

手順 3

継手本体上を緩めて下さい。



手順 4

継手本体上を外して下さい。



※継手本体上の中にはOリングが入っていますので、紛失しないようご注意ください。

手順 5

フランジの中のシールリングを交換して下さい。



※シールリングには上下があります。
向きを間違えないようにご注意ください。



手順 6

継手本体上の中のシールリングを交換して下さい。



完了後、逆の手順で組み立てて下さい。

※管継手組品は最後までねじ込んでから締め付けて下さい。

※作業中に異物が外套管内に入り込まないようご注意ください。

※内筒管・伸縮管に工具を掛けしないで下さい。

※作業後は必ず、給水状態・水抜状態で漏水が無い事を確認して下さい。